## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

2005316509 A (43) Date of publication of application: 10,11,2005 (11) Publication number:

## G02F 1/157

BB0R1/04, B60R1/06, G02F1/15 20.11.1998 US 1998 197400 07.12.1998 US 1998 206788 14.05.1999 US 1999 311955 20.10.1998 US 1998 175984 2000577510 2005181359 22.06.2005 (62) Division of application: (21) Application number: (22) Date of filing: (30) Priority (51) Int. Cl

(71) Applicant: GENTEX CORP

VANDER ZWAAG SCOTT W FORGETTE JEFFREY A BAUER FREDERICK T CAMMENGA DAVID J ANDERSON JOHN S ROBERTS JOHN K TONAR WILLIAM L CARTER JOHN W BECHTEL JON H (72) Inventor.

the rear surface of the front element 112; an electrooptic material 126 housed in the chamber; and a secand electrode 120 suparimposed on the front surface of the rear slement 114 and including a means 172 to compensate for the blue-green reflected light.

COPYRIGHT: (C)2006, JPO&NCIPI

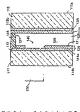
128, including a conductive material layer disposed on

STAM JOSEPH S

## (54) ELECTRO-OPTICAL MIRROR INCORPORATING THIRD SURFACE REFLECTOR

trochromic mirror, having a reflector which is at least source, such as a display, illuminator or signal light and having a raffector which does not show extreme yallow hue, but has relative color neutrality which is partially PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an elecpartially transmissive within a region in front of a light (57) Abstract:

SOLUTION: The electro-optic mirror is to be used in a 170 disposed in the back of an electro-optic mirror to ments, each having front and rear surfaces and being sealably bonded together in a spaced-apart relation rearview mirror assembly, having an electronic device selectively project and/or receive light. The mirror includes elements 112, 114 each having front and rear faces and disposed in the front and rear spaced eleto define a chamber 125; a first transparent electrode reflective and partially transmissive.



(11) 特许出籍公司等号	69 BR2005-31 R509
公報(4)	
44	
抜	
华	
R	
(12)	
(8)日本国籍群界(19)	

(43) 公園日 中華17年11月10日(2005,11,10)

(SI) Int. Ct.		ĭ			-64-4	(金巻) メーロンール	L
G02F	1/157	CO2F			2K001	_	
BEOR	1/04	BGOR	104	۵	30053	8	
BEOR	1/00	Beor		۵			
602F	1/15	G02F	si/i	501			
			20	年 长龍	審査開次 有 開京項の数 33 0 L (金 50 頁)	1 (8.9	Ē
(2) 出版物等	M 102	MET 2005-181359 (P2005-181359)	(江)出版人	811005	189		
22) A CIB		P.R.17#6.F.22B (2015. 6, 22)		2 4	シェンチクス・コーポアーション	7	
(52) 分割の数券	_	R #2000-577510 (72003-577510)		ì	アメリカ合衆国ミシガン近49464、 ズ	49464	ĸ
	90			,	**・**・*・*・* ** ** ** ** ** ** ** ** ** *	4-76	ř

_	_	メーシンド、ノース・カンセリ	10.20   9-1 600	(74)代理人 100089765		(74) KM 100076591	_	11.20 (7.0 代票人 100075270	春 本小 十四本	(7-0) tett A 100080137		(74) 代現人 1000H5013	
平成17年6月22日 (2015. 6, 22)	M #2000-577510 (72000-577510)	09E	平成11年10月20日(1989.10.20)	09/175, 984	平成10年10月20日(1938.10.20)	*E (15)	09/197, 400	平成10年11月20日 (1398-11.20)	米田(S)	09/206, 788	平成10年12月7日 (1538.12.7)	(S) El #	
SE H	Ē	ê	ř	8				(32) 概先日 中級					

(34) (別数の名称) 第3百枚的数を加えた以外的キャリー

【映画】ミラーを通して光を選択的に投射および/また

は受け取るためのエレクトロクロミックミラーの解後に 記録された電子デバイス170を有する原向バックミラ --アカンアショーの名名に大田にもため稿的光針のシー 「解決手段」先を選択的に投射ねよび/または受け取る スープロを存するパックミラーアセングリにおいて用い たかの葛気光学的ミラーの警後に配置された電子デバイ が関形されている。

**られる略気光針ミシーひめって、それぞれが新田および 後囲を住つ、 国路を関うれ間等わせパソーラ記載の基金** した素子112.114と、前配前部素子112の前起 表面上に担待された等価性材料の服を含む過剰な第1の され、チャンパー25を規定する前部および後期に報酬 8階128と、仮覧チャンパス収拾された輪殻光学が整 9色一般色反射光を描り手段1.7.2を含む第2の電腦1 28と、前記後部第子114の前記前面に重叠され、

.0と、を備えている。

9 18

8

光を選択的に投射および/または受け取るための電気光学的ミラーの背後に配置された [特幹部決の範囲] [額永貞1]

属子デバイスを有するバックミラーアセンブリにおいて用いられる電気光学ミラーであっ 関係を置いた関係で共にシール可能に結合され、 前記前部第子の前記後面上に担持された導電性材料の層を合む透明な第1の電極と、 それぞれが格面および後面を有し、関係を置いたャンパを規定する情報および後部に韓国した素子と 前配チャンパに収容された電気光学材料と、

記後部第子の前記前面に重量され、背色―緑色反射光を補う手段を含む第2の電極と

2

を含む電気光学ミラー。 | 部状版 2 |

光を選択的に投射および/生たは受け取るための電気光学的ミラーの背後に配置された 電子デバイスを有する バックミラーアセン ブリにおいて用いられる陶気光学ミラーであっ

それぞれが前回および後回を右し、局価を置いた関係で共にシール可能に結合され、 ャンパを規定する前部および後部に轄関した素子と、 前記前部第子の前記後面上に担勢された導電性材料の層を含む透明な第1の電極と、 新記チャンパに収容された昭気光学材料と、 前記後部業子の前記前国に重要された第2の配格と、を増え 新記第2の転換は、

2

前記第1の最に配置された相対的に低い屈が率を有する第2の材料の第2の届と、期記第2の番に配置された、相対的に高い屈が平を有する第3の材料の第3の砲とを **品は的に前と阻が用を放する様1の材準の第1の扇と** 

既気光学ミラー。

長年間に使く

光を説表のこれが出まび/または受け取るための職気光学的ミターの存金に配信された光を説をおけるパックミシーアセンアリにおいて用いられる職気光学ミターでありにあり

8

**よれぞれが哲園および袋園を有し、園屋を掘さた園保に共にツール可能に結合され、 ドンパを援迫する超部および袋鶴に構図した茶子と、** 新記前部第子の前記後国上に担持された溥駕性材料の屬を含む表明な第1の昭福と、

質配後部素子の安固に重量された反射器からの反射光を中性にするために設けられた者 前記後部落子の前記前面に担持された幕電性材料の層を含む第2の電極と 前記ティンパに収容された類気光学材料と、

国一級色反射光を描う手段と、

※記憶2の配摘は、可抜スペクトルの少なくとも部分において少なくとも約5パーセントの蒸道率をデナエレクトクロミックデバイスの質の値域を少なくとも合み、蕁麻剤材料 を合む電気光学ミラー。

9

のコーティングは前犯エレクトクロミックデバイスの前の前記領域の実質的に全ての上に 請永順1または2に記載の間気光学ミラー。 育記後部素子の前面に配置されている。

節記エレクトクロミックデバイスは光浪である、糖水斑 1 、2 、3または4に配載の鑑 職米扱う

**衛記光徴はインジケーク灯である、望水道 5 に記載の簡気光学ミラー。** 

(6班份編)

智大量 2

2005.11.10

2

2

2

46 w

2

6

20

8

```
| 最記稿気光学ミターは、可視スペタトルの少なくとも紹分において少なくとも約5%の
| 随端再合在する、曜天道 1、2、3、4、5、12、17、18、19、20、21、2
2、23年は124に記載の簡気光学ラー。
                                                                                                                                                                                                                     斯記等2の范延は、約93%の銀および約7%の金を含む組合金で形成された反射
都を含む、群永斑1、2、3、4、5、12、17、18、19、20、21、22、2
3、24、25または26に記載の観光光学ラー。
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          解節者色-接色反射光を描う手段は、mx/4の光学の厚をを有し、xはコーティングが
12週14年北北光の投資、mは正の対象盤数である。開来烈1、3、4、5、12、17、
18.19、20、21、22、23、24、25、26、27、28、29、30、3
1、32または33に巨線の最大光ギミラー
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               篇
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     「耐寒剤32]
核氏器との職後は、前記インジの人機能化物の最上部記後部素子との質に過野な材料
第2の職を含む、翻水気31に記載の観光光学3ラー。
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       5
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         類記録2の電極は、約180人と約500人との間の単字を有する反射器を含む、
摂1.2、3 4.4 5.1 2、17、18、19、20、21、22、23、24、
1/126に記載の販気光字3)。
                                                                                                            ú
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      施設所での範囲は、ファ戦でドービングされた最低端の値を向む、課券員1、2、4、5、1 2、1 7、18、19、20、2 1、22、2 3、2 4、2 5、2 6、1 2 8 本代は29に既の観光光学ミラー。
[経済形 3]
                                                                                                            4
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               ć
  前記職気光学ミラーは、約35%の反射率を有する、源水頂1、
、17、18、19、20または21に記載の配気光学ミラー。
[離水頂23]
                                                       請永順1、
                                                                                                      暦四陽気光学ミラーは、約7.0%の反射率を有する、端水域1、
、17、18、19、2.0または2.1に回載の観気光学ニラー。
[群水域2.5]
                                                    顔配職或光學ミラーは、約65%の反射略を有する、確求)
、17、18、19、20または21に記載の職気光学ミラ
(離末度24)
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          [數來項28]
                                                                                                                                         2
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  2
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            9
                                                                                                                                                     |都水斑||1|
光を感染させる少なくとも1つの強敵を有する、電子デバイスの部の部別パックミラー
の後面に設けられたミラー加密漢干をさらに個える、離水斑1、2、3または4に記載の
                                                                                                                                                                                                                                                                            |原光度||3|
|新日本との監修は、解記後部第子の前記前面の実質的に全体にわたって総分的に認道性
かつ部分的に長齢性である、請求質1、2、3、4、5まだは12に配表の職分光学ミラ
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 新記光センサは、センサ森政策者とび前記を総計子の非記録面と対して本成政策

の時の問題をおよってクラ解説を含し、参加コンケの解説策は、「結出ンサ等級

原表の発出してリンドは、ロンドになってから関係し、新記規をおけどのかなくと

も一部を前記しております。
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    「新原第2の指指は、特別を指揮する非常数型の実践のに全化にわらって形成された指導の

のに反称して対象のは、建設の関係であり、現象の表情にコーティングはよび最近端の

種籍にコーティングにわたって形成するに関係を含める原理を含む、開発型

で 2、3、4、5 または12に形態の原気が多れ?。。
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 5また
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     5 # 7
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           1 2
                                                                | 耳障ヘッディングを状がするための計能を終すスプレイに絶対姿勢なれた略テロンズを与に確実さ、暗光質 8 に形成の路対光やミット。
| 対象なに確実さ、暗光質 8 に形成の路対光やミット。
                                                                                                                    放記光源は、原記ミラーの慰記保護を通して専買の道路に光を放射するように確認ミーの背後に配置されている、原永道のに記載の結気光学ミラー。
                                                                                                                                                                                                                                            前記電子デバイスは光センサである、欝水道1、2、3または4に記載の縄気光学ミ
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               1
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            精記前部第十または前記後部装子の安国の10の端に敷けられた有機発光ダイオイスプレイをさらに纏える、驟水頭1、2または3に記載の転気光学ミゥー。
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     3, 4,
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          ÷
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             総外班1、2、3、4、
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     ś
                                     数水型5 に記載の転気光学ミサ
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              請求項1,
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  値を有する、関京項1、
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       値を有する、請求項1、
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           包を有する、翻求項
新記光器は信号灯である、暦永頂5に記載の語気光学ミ
|類水類8|
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              前記電気光学ミラーは、約20未満のC・値を有する、
は12に記載の電気光学ミラー。
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       前記電気光学ミラーは、約10未満のも。値を有する、
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            は19に記載の題気光学ミラー。
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   前記電気光学ミラーは、約15米間の16 値を有す
、17、18または19に記載の電気光学ミラー。
【請求項21】
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  前記局気光学ミラーは、約15米湖のC・
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       前記稿気光学ミサーは、約10米額のC・
                                   信覧光波は倍数ディスプワイである、
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    は12に記載の職気光学ミラー。
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     は12に配銭の略気光学ミラー。
【群永道20]
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         7, 18また
```

即水道 15]

2005.11

2005.11.10

٠ 2005-316509

9 電子デバイスの前の前記券2の職種の領域は、前記券2の電極の他の信候における原さ よりもかさい厚さを有する反射材料の層を含む、請求項1、2または3に記載の職気光学 [間※項37]

電子デパイスの前の前記第2の鶴径の領域は、反射材料を全く含まない、請求項 または3に記載の電気光学ミラ たは3に記載の職気光学ミゥー。

前記簿2の電極は、第1の部分的に反射性の準備性材料の第1の届を合む。

配を近した

新国第1の部分的に反射物の発傷技材をは、クロム、クロムーホリンテンーニッケルの 84、ニッケント戦・シワコも会。ステントス版、およびチタンサの実質的に振成される群から返済される、請決裂38に認成の観光光ポッシー。 [暦次数 40]

| 熊記等2の韓国は、前記券1の毎と前記反針対料の届との回に回避された第2の終分的に反射性の等階位材料の第2の個を合む、請求項38に記載の稿気光等ミラー。 **リッケル、ステン** モリブデン、ロジウム、 前記第2の部分的に反射性の導動性材料は、

およびチタンから実質的に構成される群から選択される、糖水減40に記載の職 前記職気光学ミラーおよび職子デバイスが設けられたハウジングをさらに借え、前記ハウジングは、前記ハウジングは、前記ハウジングを単西の内部に搭載するための搭載部材を有する、請求項1

8

海街平の方向へのミラーを通した前記光振からの光の激送を低減させるための、の前に配置された手段をさらに催える、請次項5に記載の臨攻光学ミラー。 2または3のいずれかに記載の職気治がミサー。

可能スペ 前記第2の電極は、光浪から透過される光に対応するスペクトルの倒域では、 クトルの他の領域よりも透過率が高い、請求項目に記載の電気光學ミラ

第四階の光学媒体は、前配第2の電極と接触して前配チャンパに収容された少なりの液揺職気光学材料を含む、請求項1、2または3に記載の電気光学ミラー。 [請求損46]

8

前記者色一緑色の反射光を描う手段は、前記第2の電極を透過するすべての着色一緑色 光を、前記ミサーを通して反射させる前記後路落子の前記後頭上にコーティングを含む、 際末版3に記載の稿気光学ミラー。

前記背色一緑色の反射光を補う手段は、

各 相対的に高い国所非を有する第1の材料の第1の届と、 指記第1の単に配置された相談的に低い国際非を有する第3の材料の第3の屋と、 諸記第1の毎に配置された。相対的に高い国際非を含する第3の材料の第3の屋と 暦次項1または3に記載の観気光学ミラー。

2

際永近2または47に記載の寛気光

Ŕ 前記第1、第2、および第3の材料は幕電性である、請求項2または47に配戴の電気 [經水版50]

外層に沿って前記前部案子と後部案子をシール可能に結合するために前記前部案子と 光学ミラー。

9

部案子の国に配置されたシール材を含み、前記等2の電極の少なくとも一部は前記後部業子の前面と前記シール材の国に拡張していない、請求項1、2または3に記載の電気光学 半縁間性または縁尾伯のコーティン 前記者色―教色の反射光を描う手段は、結縁性、 合む、顔永夏または3に記載の電気光学ミラー。 韓永夏53] 御木垣521

半等気色または存取性のコーティングを合 む、請水道2または47に記載の観気光学ミサー。 · 動類位 **信記第1の材料の推配第1の番は、** 「発明の群組な説明」 技術分野

2

- 本発明は、自動車両用のエンクトロクロミックパックミラーに関し、特に、少なくとも 1.0の商組上でトログロミックが科と提出と第2回反射器/電路を備えた改良された エンクトロクロミックパックミラーに関する。 [0002

これまで、背後から接近する専門のヘッドライトから故たれる光のグレア (glare)

30

高温率がエンクトログロン・タ手段によって変化する、簡単対射器に対して可逆性可談、機能手をデザイスは、過程技術が単作組合にある。 100メルターング・ログ・ログ・アグ・イスは、光金に一手行された対象が グラッシッティング キカにおいて、光金に一手行された対象が

の内値もしくは外側パックミサーシステムとして用いられ得る。

S

治内に存在し得る他の任皇の成分の傷気化学物性は、アノーが対すの極気化学版化、ガンードを持めの最大化学成化、カン 一ドを持つ職人にある際、よりで的に影響のファードが将り返別である。アドドガキとの 関の自己者を取り出くに、アンードが科を確化し、カンードが手を選示する大幅を確定 学校代表ではた成の数では予選におって発生しないものであることが発来した。 ケイプまたは液枯タイプのよンクトロクロミック材料、およびその組み合わせを含み得る。全液積燥体では、溶媒、過彩的な不治性電解質、アノード材料、カンード材料はよび溶 スペース26内に配置されたユレクトロクロミック媒体24は、契面が限定された框

9000

2

大部の場合、効果の経過では、4.1.1 (18 mm) (18 mm)

10007

機能制 144.70 [14.12] 14.12 のようの単純に基準をのは他の表情を指揮 機能を表し、配金が明確解は144.70 [14.12] 14.12 [14. 40 国体金属原化物またはレドックス指性ポリャーのハイブリッド化合物であるエレクト 80001

9

現布用こられてこる大抵のエレク 上記の液相設計は、 って典型的なものである。 じがら ロミックデバイスにと かみなる。 [0000] 1000

A 2005

※固修作券5、818、625号は、第3順反対標を有するエンクトロクロミックミラーを開示しているこのような設計は、設定がより結構はであるといる対象機を有るなのがなく、即ち、第3両反射器/電腦が存在するない。方式に対策される確の数分ない。即ち、第3両反射器/電腦が存在する基金を、ディススに構築される種の数が分ない。即ち、第3両反射器/電腦が存在する基金 には、第3回透明電極は必要ないからである。

4 **彼来、東沿蝦光ディスプレイなどのディスプレイからの情報、像、またはシンボルは、ホナーの第4面に反射磨が形成された自動車周用のエンクトロクロミックバックミサー。** またはシンボ [0010]

9

であり、年国発展には後的には原決力はない。 [0011]

2

(1) は最初には、10 中の最初には、10 中の最初には、10 中の最初には、10 中の最初には、10 中の最初には、10 中の最初には、10 中の最初には、10 中の間は、大きの事故をあって、10 は、10 中の間は、大きの事故をは、10 中の間は、大きの事故をは、10 中の間は、大きの事故をは、10 中の間は、大きの事故をは、10 中の間は、大きの事故をは、10 中の間に、10 中のに、10 中の間に、10 中の間に、10 中の間に、10 中の間に、10 中のに、10 中の間に、10 中のに、10 中のに、10 中のに、10 中のに、10 中のに、10 中のに、10 中のに、10 中のに、10 中のに

2

10の原規は記されません。 本語不可のでは存むる。 中華大学 のであったの。 10の原規は記さません。 本書のものではない。 上の、・ 政部では、「ロコロの知識 11位は、日本では、一、 日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、日本のでは、日本のでは、「日本のでは、日本のでは、日本のでは、「日本のでは、日本のでは、日本のでは、「日本のでは、「日本のは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、「日本のは、日本のでは 中、1BDの強張は、他の華国に乗ったころものが結中灯に咎場に突がへよった光数 設けられ得る。 [0012

Q

個の対象とレーイングンは存在し、エレクトロロンクをつった中で 個の対象としてトングリロ存在とのでは、エレクトロンのコンテンクを対す フェーアングリロが存在していると、名をは、第2月の日ンロングラン 第0年他は一キャングは、エレフ・ロコングスコー、地上、第2月間は17日前で 10月1日 点で、多くの外部ミラーアセンブリと同じ問題が [0014] 信号灯を右する外部ミラーアセンブリは存在1

[特許文献1] 米国特許第5、207、492号 [特許文献2] 米国特許第5、361、190号 [特許文献3] 米国特許第5、788、357号 [0015]

発明が解決しようとする課題】 発明の開示】

2 があって、本等の1つの自動は、まっかに非常での自動を含まれていて、 等が、情報が、スプンパ、もしくは同時などの光度のは、またはエンド・ロッロエン・ の写像に関するできます。 の写像に関するできます。 の記録をしている。 では、これが、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、 をして、インパ、一部形象に対している。 ものでは、または、一般では、または、 ものでは、または、 ものでは、または、 のでは、または、 のでは、 のでは、

0017

[0018

本発売の関連はよってソフジが内のよって単位を表現した。 イブインフリ される かってメンプリを指す。 4 メリプ・ストを実践的に対象をは出来するともある。このよりである。 日に対象を成し到するために、不明によるパックラーアセンプリを提出 の記事を表している。 日に対象を成し到するために、不明によるパックラーア・センプリは、感情的の影響 の記事を表している。 日に対象を成し到するとのに、不明によるパックラーア・センプリは、感情の影響 の記事がある。 日に対象をないのであるとのでは、一般では、一般では、「終生」に対象が、 一般である。 日に対象をは、「一般では、「一般では、「一般を対し、終生」に対象が、 同様を含まれる。 日にかられる。 日にか

ĕ

2005.11.

2005-316509 A

9

[0020]

9 他の表現的によると、表現のロントーロタロミックミッドは、エントーロタロミックギャ技能した機能がその原因によるまたものである。 と対した他によることがなっていることがある。 からの際にはなる際に対していることがある。 からの形式はないません。 他の形式はないません。 他の形式はないません。 他の形式はないません。 他の形式はないません。 他の形式はないません。

2

0022

æ 本発明のこれらおよび他の特徴、利点、および目的は、以下の別額者、請求の範囲、よび既付の図目が参照することにより、当業者におらに誤解され、評価おれる。[発明を改成する大型疾れたかの表現の影響] 0 0 2

着して光を反射するのに効果的である。

8

2

024]

ę

8

2005,11

日本では、外部ミラーは共に凸形状を有する。 100251

(0025) (0025) (00210) (4に、特徴アスプレイ (即ち、ロンスメ/超貨アイスプレイ) の3かから参加ないないでは、サーブセンフリカに配置されているともの、本発売のエレクトロクロミックスック・ログスックスターの既なも参りないを開催されているともの、本発売のエレクトログロミックバックスターの既なも参りを

2

0026

2

米別都會では人間いられ、記録されているように、新子の実道に「回答されている」வ 高速される音が計る場。 実力の愛回に開発回されている語のしくに語っまれた第一名 数面に指表配置されている語のコーティング、1 つの語 。6 しては致労の総を指すものと

(16.02 8) (16.

[0029]

\$

[0030] ドレクトロクロミは、英唱デバイス・

開デし、 び構造を ル材料およ プロ製切な

関係の電解性料で 2 84、 解析を 2 84、 解析 3 84、 和析 9

9

発展ではる。反射では、第一部では、14年には、第一部には、14年に 無数をはる。反対が、24年により、19年間をは、14年により、19年1日の この解析のやででの成果を発動し、できぬから配送に会れて発展を有す。 この解析のやででの成果を発動し、できぬから配送に会れて発展を有す。 19年間を始めませた。これを実施をは、19年のとの経過をあり、19年間、19年 19年間を発展があれている。19年間からこれにおり、ディスの経過をり加 手型になったが高が生じる。ドルは、米別の反射を、配換の組みをから下がの表現。

0

[0033]

9

8

第2に、第3面反射器/電極は、ミラーを通して見られる像の向上を助ける。図1

2

タトロクロミックディイスはで用いられる個型シール部状116に対する体態要件 高がディス(LCD)に用いられる個型シールに対する位標等件と回接であり、1 観察作が早年個型である。米国略件第5、818、6 25 号は、これらの特体なら

8

2005.11.

9

2

2

[0037

9

8 第3回反辞学/電板120をイする信頼のおけるエンクトロクロミックミックを得るため後も原要な要因に、反射等/電池イナ分及仮針年を有し、反射等/運動を作れたミッカナチを関係を発展を指しては、自歴事験活動は、少をくとサイナを発展である名することである。反針単に関しては、自歴事験活動は、少をくと 第3回反射 むの最も重要

1.4 外傷ミツー ればならな も35%でなけ **- を好むのに対して、なくとも35%でなけ** ミテーのための反射ミター! ど厳しくなく、一般に少な・ も60%の反射率を有する内側 のための反射率要件は、それほ

2005-316509 A 2005-33.

ŝ

9 反射器は、 クトロクロ で有するの 為煩 £ 

2

合まれる。さらに、ミテーは、これらの温度お の着色サイクル寿命の関訴え抜かなければなら [0041]

8

\$

選手を指示が表す時でもなった。第3回程が関係を選出す。 第4年をおけてアントのこうとのでは、第一名、20回程をはなった。 第一名、20回程をは、第一名、20回程をは、2

9.

ន្ព

(1845年 (成品) 1948年 (1845年 1917年 1917年 1917年 1917年 1917年 1845年 184

9

8 2 1所のケッドウェ146に、反移体を発用する所でランドウエリア146を アルニとによって活成される。これに同かに、第3回の両面ははられ、(反 ドルられる場のの) 環まれは低をとの材料が、シール 11 6が4時になれ ないより下の地質はからのからかますが、シール 11 6が4時になり 17 2との間にりま力な経費をあばりある。さらに、セッド 16 のが例のエリ 

DEVIC 被碰 423号に記載されているように、 (図2) もまたマスクされ得る。あるいは、"JWROND SEAL FOR ELETRON ES という名称の米国特許出顕第09~158、423号に記載されている。保護材料は、シールに感想され、シールと観/観合金層との網の接着を向上10048)

・ プリックフラッシュ イーコード 個ではデリー を保持し、 にんちゅうは非 に (成計型 12 ) ではくく ) フラッシュ・バーコート 都立いシャー ログ ほう が に 報告して、 できまった (エクラッシュ・バーコート 都立いシャー イーコータ は を 子 (正成日 12 ) に対して (エクラッシュ・バーコート 第2 ) できまった コータ は を 子 (正成日 12 ) に対して (エクラッシュ・バーコータ は を 子 (正成日 12 ) に対して (エクラッション・バーフラッション・バーコータ は またる (エクラッション・バース ) に (エクラッション・バース ) に (工) を またる (エクラッション・バース ) に (エクラッション・バース ) に (工) を またる (エクラッション・バース ) に (エクラッション・バース ) に (工) を またる (エクラッション (エクラッション・バース ) に (工) を フランシュー イーエー) に (エクラッション (エクラッション・バース ) に (工) を フランシュー イーエー) に (エクラッション (エクラッション (エクラッション ) に (エクラッション) に (エクラッション ) に (エクラッション ) に (エクラッション ) に (エクラッション ) に (エクラッション) の (エクラッション ) に (エクラッション ) に (エクラッション ) に (エクラッション ) に (エクラッション) の (エクラッション ) に (エクラッション ) に (エクラッション ) に (エクラッション ) に (エクラッション) (エクラッション ) に (エクラッション ) に

9

2 [0049

8

\$

200

に亜沢され

S

金が用いられる場合、安全性のための戸の宿在町房は、広い地面におたり、郷犬ば、1.2.7である。この信任では、鎌仓会民籍等で商店は、少なくたら1つの資店ドレケトログコック移手を搬してアン・ドンして安全に用いられ場る。

9

図 3 ほうだって (1) と (2) を出す。 (1) と (2) を指す。 (2) と [0055] 図3Bに示す配置は、 もせてしまう。 0056

ន្ព

[0057]

2

間 5 (14、 本級ののようと 7 (14 ) できる 2 (14 ) できる2 (14 ) できる 形成され得る。

2

、第2の電極120のさらに他の代替落准をデオ。回3Eにデチ基準では、第20は、ミャーの第3回114条代にかたって砂造されている基準機コーナ20は、ミャーの第3回118を有する。反射コーティング118を指する。 [0059] 国3正は、 国3Eは、 2の電極12 イング172

心配しないで最適化することを可能にすると共に、その領域内で最適化され得る。

<

作品の上に連絡性によることによって、ディングイルをは他間がないの地域によって 作品の上面の位置に使けるに、第2の機関12の行う機能はも正常の特定のシンド の解析への配置に配えるため、第2の機関12の行う機能は、第2の機関12のは、終さし なくももの場の配置を使用し、第2、Cは2のでくとし、10の機関は、10の機関12のは、終まし エーケップ 17 には、第2、Cは2のでくとし、10の機関を発生する・機能を あるが、15の型的分には特性が影響的に適適のの機能は伴や1.0をによれは12の機

[0900]

からもなり得る。

2

材料の光学記数は、用いられる塩積力法および条件によって幾分が変化することに留業されたい。これらの英は、実際の光学値および所定のコーティングストック(coating st 平方根と等しいため、色中性を定量化するための測定値を提供する。

xxk) に対する値を連載するために用いられる最適な厚さに実質的な影響を与え得る。

マルーにの「おおおおい」にあるので人人のように表現を選択し、スター そかでしま。 までの基がし、スペターとの他の一体の場合においております。 まったの しょう を示して、までの基がし、イン・フェーでの「おの値は」にかっております。 のもに実際のもの 単二年本での際し、これのは、中心ましておいのでは、またのは、実際のもの 単二年本での際し、これのは、一般のは、一般のは、一般のは、これのでは、 からに様子があっていまっています。 14 の人の「TO(1・/2数)は、私のかに就 のの事子、(8) 20 0 1 8)をはなす。

、 「大道政権に関係の対象がなる。」 ・ 大道政権に関係の対象がなる。 ・ 大道政権に関係し、存在権、反対はおいてもらに単位の他のがはこと。他の政党 がするので発展を開発し、「イェ、タン、イン・ダンドは、反対等の他のやで がするので発展でする。(F) So 0.6 Ltt (A.D.) カロクとから知る別のコート が大力ので発展でする。(F) So 0.6 Ltt (A.D.) カロクとから知る別のコート が大力をは関係し、最近後、6、Ltt (A.D.) カロクとから知る別のコート 取得を指する。 

9

[0065]

[0066]

8

\$

例えば、母172)の最適状態 り返される原理が部分的に示さ 選率を有するいくつかの要因に (例えば、乗り返され って、様り および落 の1つの届または複数の優数の厚さの増加に従って、まな色中性、反射率、および3 設計における主として認過性の が、その1つの両さまたは複数 れる。この最適状態は、良好な よって決定される。 [0068]

9

01.10

2005 4

2

点で有利である。

2

(0072) 2031 に元子 実践が思るからのにより、カンスパックプレート 114、約77人の 1931 に元子 実践が思るからのでにより、カンスパックプレート 114、約77人の 1934 に元子 インスパックプレート 114、約77人の 1934 に元子 1931 に元子 1931

2

(10.5円) (10

2

ç

2005.11 4

るべきである。ミラーは、少なくとも約ち%の激溢 %、最も好ましくは少なくとも15%の激盪事を示 に、第2の電極120はわずかに低い激過率を有し のは、わずかに高い反射率を有するべまり好ましくは少なくとも約10%、これらの返過率アベルを得るために、これらの返過率アベルを得るために、 -#±

**フヘなこ数句 フヘは巻 10** 【00で1 +15よわら大きいも個な有するエレクトロタコミックミッーは、好ましくたが そからた他会かな有するため、ミッ・は、好もしくは初りを楽場、より好きしくは初り 米頭のしを値な方す。したがって、第2の観像12のは、同様の特性を示すのが符ま!

2

8

ş 。このように、ミラーは、騒曲の字。おいて図巻に少ない質色の色合いを

気した。 0791 <u></u> ≥ 🗵

9

\*\*\* Con 2-7 れ得る。

ន្ទ

2

・複数機関のようとグライの・大型のインターの内の投資・必要体・機関・ アア型性で、機能がイスようには関することによって、中間がから所に対す、工程や アリングに対して機能的に中他の反射率、効率はアロ構造に対して中国数から第に指す の種の子・大式がタイプを観光を の様の子・大式がを作る場合が構まします。 尋V ス またはV ス゚のいずれかまた [0081] '

は両方の使用を暗

2

\$

23

(\*\*) 0.0 (4.7) (2.7) ( し、改造事は協加する

٥

等くができる。 Table (1900 Harty Owner Ford (1.07) かんかうかん a shaffed a first 2 by Table (1900 Harty Owner Ford (1.07) かんかうかん a comparison of table 8 d 先に向かられる。 10 PP かんかってきる a management 1 5 m for 10 m for 2 m fo 980 0

- 01 1 

9

2005.11.

4

図3.01、 非難性多単数型 トッイン 1.01 にいけて 1.03 のうんがいちんだっこう 以外は、図3.5 にボナケンを作れないをできた他のできまった。 3.0 にボナル 協立 よるた。 製造型 コーケーング 1.00 に 2.0 に 2.

9

2

2

8

選手を示した 上述した特定 ラーで用いる 名の光路に同じてしているかので OHA 上記の2つの3層の例が、50%を上回る光反射年および約4とを考えると、図3Gにデすように稼獲されるミサーは、図3日を考えると、図3日ので合致するので、信号灯を備えた外側エレクトロクロミッ・ 0 6 0 1,0

2

かなように、上記の幕電性多母薄膜ローティングは、エレクトロクロミグを枯、またはハイブリッド(固体状態/海液または固体状態/水ル)・・・</tr であるかに関係なく、メフ 当業者には明らかなっな様体が液相、ゲル 092]

0091

ら図36を参照しながら示し記載した上記の代替の格当は、ソラッシュ: 着していないが、当業者には選解されるであるかが、このようなレラッ。 、図3Aか5図36にデナ様々な反対整7階艦120株造のいずれにも3 対数ーンー 図3Aかり 一保額ಡを7 으므

0931

2

X \* n 4

回4は、上記の回3日と同様に、本発明の10の実施影響の諮園を示す。具体的には、 毎178などの反射層の背後に発光ディスプレイアセンブリ、インジケータ、エナンシエ -ヶ(enunciator)、または他のグラフィクス170を設けることによって、スプリアス

数回材料を用いて形成され等る。其空蛍光ディスプレイは、個々の塩光素子の個りのすべ Cのエリアにおいて、内部開色マスクを用いて得られることに留意されたい。 反射防止手 整するために用いられ得る。 [0094]

段192が反射防止層として形成される場合、実質的に任意の企知の反射防止膜がにの目的で用いられ得る。反射防止膜は、ディスプレイ170から放射される光の特定の改長で の反射を防止するように構築されればよい。

2005.11.10

9

来子112の面112aとの並攻が南からのスプリアス度的を値減させるために、反、 形態度194は、後来の任意の で成れるは、遠面に172a上でイングライスプレイとの風に挿入される円屋光子は、 で次されるので、スプリアス度砂を開発しているの間に挿入される円屋光子は、 た、スプリアス度砂を建設するのにも用言るる。 [0 0 9 7]

無機物

2

[0098]

スタントで開設され、最初をはこれない。他のブリーナは、国交債分子を たんとフット・高速型フィンテットで・フェントロのを用ったこともあってのであった。 大会が照けれ、単位数でやおよなもの。あるいは、日本たは知のコントランド・エントロファンテッチェスアールでは、LODの代かりに用いられるか、または報じ目りは、 Rem 1 4 に関係される間できれる。

30

の後ちに適用されるプラングスクなどの吸収面に向ける北部さ。ディスプレイの角度を変更するよりはむしょ。反対セームは、然時を破壊がティスプレイの前面に緩撃するなどの他の手によっては伸され、この目的は、ディスプレイの転野円線からまたは吸収機体もしくは接通に成身込を再方向づけることであることに留手れたい。 6600]

2005.11.

<

の他の有用な技術は、表示像をラー)から透過反射題120を 5反射した像は、透過反射器に でディスプレイ上に鏡面から再 スプリアス反射を低減させるための他の有用な技能は、 [0.10万十)に、スプリアス部分を指摘させるための他の名用 図る日にガーナ)に、スプリアス部分を指載させるための他の名用 組して記載させるとしてある。次に、雑選式部割120分の配削した 対すをディスプイルの角膜をカイがに製型することによってティステ 対向のけまれ場る。

2

8

10.00元である。10.0 利大だれ有得きけ、すをくせいる ポットに投射される。焦点以外の感知位置に関しては、第1の近似として、光学、光が感知される固均のフォーカス円路の前面の面積に対する、光が入射するレン、

9

・ 必要的なフェールで発生のませた。 認識をは表現でしている。 「のがする中のと」にも私たか、 ・ 面がする中のシンズの作わりにフィルメンズを用いても、から、、そのに、大きの間で、 フィンズメがは高野を用いてもらなる様でが可からままなければない。 等に、大きの間で、 フィンズメがは高野を用いてもらなる様式を押してもよった。 時には、のもの連貫・ フィンズメがは野を用いてもらなる様式を押してしまった。 時には、のもの連貫・ 大手が野がに高速のに対象の「の下型を下し、100 年のまままがあります。 大手が野は、脚のに適遇が必然性的で、「日本のよりに対象が実施を指揮があった。 大手が得は、脚のに適遇が必然性的の「日本のよりに対象が実施を対象があった。」 フィアを使ける最近がなればして、日本のよりに対象がまたが 0105

見野を提供するべきである。

2

2

٩

8

**原因者によった引き起こされる場合された光のアストの深刻な不然回転を応止する。 すべての数針において好きしい。非常にかさな回避のカンチは、これもの不扱調** 

9

111 4 [0.1.0.7] 断さより切割えを楽しなから上光した森地の木やれたおいては、エフケトロクロ: カラスラー(関フで着の 7.4.2.0.0.0 ミしてボルン)として使用するのに、図3.4.2 1.0.0.0.0.1 できませんなうと様様のレイルを用いてもよい。

ä 2005 <

109 2

0

[0110] 再び図8を参照する。

0

等が100 を発酵する。エレーロフロミス・コンタ 2.0 Ct. カボウンタッーセン フルイビル 100 に、 200 に 2

ę

マードケンプリンのはならに、カイス 2名からで、一部部画面をあるよう。 で変形に指摘される。 - 2.0 ので発に関わられた気化・ツーツの指摘がおいて ここは当時に対象でながである。 3 ップ・アンジョーの結束は「影響に対象でもあ こには当時に対象でながである。 3 ップ・アンジョーのは、ランジョーの 実際的に対する。 このようなフェーロが中に対するとなっています。 2000年リア・フィー 実際的に対する。 このようなフェーロボル・ボルード 2002年リア・ 実際的に対する。 このようなフェーロボル・ボルード 2002年リア・ 実際的に対する。 このようなフェーロボル・ボルード 2002年リア・ 実際のに対象し、このような対象に対象である。 1000年リア・ 実際のに対する。 このようなファーロボル・ボルード 2002年リア・ 実際のに対する。 このようなファーロボル・ボルード 2002年リア・ 実際のに対する。 このようなファーロボルーボルード 2002年リア・ 実際のに対する。 このようなファーロボルーボード 2002年リア・ 実際のに対する。 このようなファールでは、 2002年リア・ またり、 2002年リ るさらなる特徴および素子を含み得る。 [0111] 37-7センフ

10914 前780名をおけてインソッ2のを示す。このような部分に2014. エリロ914 前780名をおけてアインソッ2のを示す。このような部分に2014. エリロッコップ・ロスタッターと組みをから着びた面がする。 即即作第5.2 61.13の今年よび第5.7 88.3 51・9年に紹介されている。しかしていました。 「大江の間をよるように、国に会れなりでナンジリは、図15年を指示するは、コンスの表現がしている。しかしていました。」

2

に関する信号灯の整件のさらなる説明はし

ş

8 

8

リア(時点は、34.6)は、本発明に従って指分的に指すされ、コンパス、ジョック、または他のとなどのテップイを開口の発売が活出するというます。これであるように発売する。 本場的はは、グレブをおどび開催されて開発し、さらにファブの所を設すます。 が可能ない、グレブをおどび開催されて紹介を表すに関心。さらにファブの所を設すます。 か可能な、ファブをおどのでは、カーズをよってのようコーに、送用可能である。本発的に なる、有数された難らの指しまる。

(0.12.1) (0.12.0株 3.1.3 に沿ったミサーアセンジ310の部間回びかす・ 140の場所回びかび・ 14.2 と 3.10は、 2012 に 2013 に 2013

9

t、ミラー3 反射器/電 他の反射器 22 反射器が1の毎度低極限20として作用する対幹の少なくとも1のの単は、10分割の割りませた。上記の対称/多数解はいずれた。12の対称/多数解はいずれた。12のは対して関係に関いる対象。※四等符集5、818、625号は、構築812のを評価に開発している。 福120に対 /電極120 0 1

2

現在のと 遊展、および制御により、 れ得る。レーザエッチングは、その精度、

2

9

ろ好ましい方法である。

m D E 性反射器/で随信321 aを実費的に含まないエリア、および特徴性反射器/ 保護が存在するエリアは、毎間性材料をオオる十分なエリアが発化し、エレクトロッ 解析の必要の影響を対して、一般のでは、これをは、 1990年の影響を表現して、一般のである。 1990年の影響を表現して、「1990年の影響を表現した。それを「1990年の影響を表現した。それを「1990年の影響を表現した。」 1 57

8

2005.11

(0.12) では、 (0.13) では、 (0.1 アの機能に関する。したがで、保護表が1973 2 によりに対している。 の認例の他は対しく発症されるのだがで、質素が2000の機能は対しているでは対している。 それによって、実育の条具に対して機能に限力がのない他子はが低にあ、表現界に従って に確認さまします。
1982 2 によって、実育の条列がのない他子はが低にあ、表現界に従って に確認さまします。
2 に、指数等がよりでは対しな必要に関する。
2 に、指数等がよりでは対して対しない。
2 に、指数等がよりに対けておける必要に関す。
3 に、指数等がよりに対けておけるが最近のの、終さまたが第二階に対し、

2

in application to a control latent to or than 19 months of the control latent to or than 19 months of the control latent to or than 19 months of the control latent to or than 19 months of the control latent to or than 19 months of the control latent to or than 19 months of the control latent to or than 19 months of the control latent to or than 19 months of the control latent to or latent to or the control latent to or the control latent to or latent to or the control latent to or latent to 

「0.12 7 10.10 34.00 10.0 は、Aの別を発揮するための2つの存む配面を示す。即10.03 34.00 10.0 は、図のでは、10.0 で、10.0 で、20.0 での配面である。即10.0 は、 10.0 34.00 10.0 に、図のでは、10.0 で、10.0 で、20.0 でで、10.0 に 電影響きるころりの平行ウェイル。反応が一点では、10.0 でで、10.0 にで、10.0 に 20.0 にエフタンをは、10.0 にある。10.0 で、20.0 にないで、20.0 にないで、 20.0 にエフタンをは、10.0 にある。10.0 に対応で、12.0 になって 他のかまりた。10.0 で、20.0 で、10.0 に、10.0 に、20.0 に、10.0 に、

2

9

2

回様に設けられ得る。

8

8

色の信号灯が用いられ得る。

\$

ç

522 合まない交互のエリアを有するウィンドウ領域を遊供する概念は、非エレック個号ミラーに同様に適用され得る。他の材料を用いてもよいが、このようロウロミックミラーの夢りまたは第2面上のクロムが現在のところ好ましい クロミック信 エレクトロク 反射材料を合 トロクロミック な非エレクトロ

3) [013 [810]

0

围袋 一の第4回の かかかい 10 " Q . 123 5 後し、プ を有し れる場合、カ アパーチャる られ仰る。 52 (0137) 漢子を100%、スワー加熱素子を用いて設けら 名様にわたって落在し、適切な位置に形成される1 勢される光を適切な角質で蒸進させるように設けり

2

(10.25 4から放射される光かり返床を分配をするの他の節節は、却ブレート 12.D.25 4から放射される光かり返床を分配するで置いていた。 50.00元はが付から使い、30.00元が、30

2

(10.59) 1.002554から放射される水を返転手の方向に返送させずにコリー解する20は、1.002554から放射される水を返転手の方向に返送させずに変換があたいに、他のな金板でが向づけるように、金板板もくはフルネの頭、またはお室等等を下である。3.59年を信息されていることであった。アイング出来架子などの基本を大手模談をあるがられる場合。

2 M M [0-40] よくの (10-40) ( うに延在し得る。

2

.. ~ 4 1分十上配の実施形態に が、スターアセンブリ た実施形態に対して上、 た実施形態に対して上 [014] 1014] 1014 日の1012 日 9

ント上述したが、それ に、10またはそれ以 7.で形成され締る。 **複数のLEDで形成されるものとして上3の趣旨または範囲から逸見せずに、1.および適切に着色されたフィルクで形** であり得 とを示すためのインジケータライト 、好ましくは複数のLE 号灯は、本発明の整旨ま 本発明の信号だは、辞ましくは物もかかわらず、信号だは、存号だけ、本発明の白巻だまたは任実の信の決議。 **と除状態が存在する** 上の白熱灯ま

8

2

日辞学とは新聞

5.5. FF L "SBATCONDU 顕725は、佐葉のタイプの光膜であり得るが、貸ましては、白色顔である。将すし 個は、John K. Robertsによって1999年3月15日付けで出題された。SBUCMAD WOLVITON BUTTER MOXAGE という名称の同じ接受人に経済された米国の海外胎出 こ光瀬は、 014 光膜 7 ĕ

チバッドであり得る。

2 4、493時に顕治され 4 61 第60/ [0146 光篇72

8 (0147) 1のような販フを含むがパングミサーハウンング710所に設けることによって、 再回の最が単原に含り込むために影響しなけばならない。再形の外部のシリアを取射 するための光度が単同に設けるが落る。このような冷鏡は、単形が参に確い場所にいる。

きに有利である。

上記の改進原材性(明ち、節分的に改進性で、節分的に反射性)のパックミサーによって、反射コーチェングの一部が発生すば、薬物学に無機の支売が可能になる。この結果、さらに吸的に発生しい料度となり、ミサーは、ディスプレイがオーになっているときに、指導性にた影響をロナトに見る。この応用に参れ道にかってアフレイの向上しては、日本にはただりがある。この応用に参れ道にカッチンレイの向上しては、 ンパスティスプレイ

8 、W、NW、SW、NE、SE)を表示することが可 )を用いた単画のヘッディングを表示するおらなる特 されている。これらのタイプのディスプレイは、シン mí G つのコンパス方向(N、S、) 文字数字式螢光表示循(VF) 右する多くのミラーが毎年賦3 [0150]

サイド ロップ の でん (1994 年 1997 日 1997 日 1997 日 1997 日 1997 日 1997 スプレイは、電光機能を対すが、シードにコッスの一を指する。 (1995 日 1997 日

9

0 15 1

9

2

2

\$ 

・ヴメントを原理する基々な方波が感えられる。最ら簡単な形式では、800リンスズ のクリンンスフットックでは、後にあり、100キャン・ 「新打が買い気のて、新知の専用に置けれる。 他の大式では、80のインシー・ウナベイが、・サイ準(原のよれ、別の在の地方国に対応するインシー・ジャー・ジュ、1、1、1、1の83 よりもはある・10 をしまれる。さらに用

8

8

ä 2005 < 005-316500

9 n Gan LEDを開いることによって歌し送げられる。 Ingan I LEDは銀在落値であるが、セグメンド化ディスプレイはおで用いられるよりもはるかに少なから少かではいられる。 値であるが、セグメンド化ディスプレイはおで用いられるよりもはるかに少ない質のL EDではい。 Fixat LEDなどのパッケーシをれたLEDの表明の代表をして、LE

Dは、チップオンボードとして酢楽上一般に公知の技術を用いて直接国路基板に接着され

8

フェブリャ (14.1) は、3.7 ナルル・フェルル・アルタウェンになっています。 カース からのため (14.1) は、2.7 カース からのため (14.1) は、2.7 カース からのため (14.1) に、2.7 カース からのため (14.1) に、2.7 カース からのため (14.1) に、2.7 カース からの (14.1) に 2.7 カース からい (14.1) に ş [0157]

っては限定されないものとする。

JP 2005-316509 A 2005-11,10

ミックミラーのおちに伯の幕連を示す部分語画図。 【図6】本発明のミラーアセンブリを備えた内部エアクトロクロミック バックミサーを概 従来のエレクトロクロミックミラーアセンブリの拡大断面図。

2

2

【四8」信号打を右する外部自動バックミラーの発現回、および本処別に従って爆集されな外域にケットセンプリングレッグがの観光の直接の配合。
【回8】本級明の外部ミョー下センプリにおいて用いられ場を信号だサファセンブリの正 [図で] 織7-7.に拾って取った図6に示すユワクトロクロミックミサーの部分断画図

2

6 |図11] 2つの単層のうち1つが不効的のなアメン・モロ・ニールに、。 |図12] 本発明の他の実施影響の情報ディスプレイエリアを用いる自動バックミ

9

6 [図13] 明隆に図示するために部分的に分解された、図12に示す自動パックミラー

S

	クロンドページの出き (31)配売者主要番号 (97)31,955		(33)保先指主项团 米国(16)	(74)代理人 100107696	弁理士 陸山 文俊	(75)死配件 セメンガ、ゲーハッド・ショム	レメンな会長器 ツガン生ものもの4、 メュールンド、リスースンド・リート 00.1	(72)知明者 トナー, ウィリアム・エル	レメンと信託回いりだり生々の40. ボールンド、フォムドン 40	(72)発明者 パンダー・ズワーグ スコット・ダブリュー	アメリカ伯楽国ミンガン光キの423。ホーサンド、ウエスト・フォーティドイス・ストリート	960	(72)成形体 ロバーシ ジョン・ケム	アメリカ会後回ミンガン生も858、イースト・グランド・シロッズ、 シウス・イースト、 ブリ	73.7.4ks 1081
100 111	10 2 801	9 8	\$ m \$		[58 2 1 ]			1	, = \ = \				m \ /	<i></i>	2

アメリな会校園2ツガン巡48423、 ホーサンド、イースト・トゥコンティンァースト・ストリ

アメリな会教器ミンガン烈48428, ジェニンン、ウィローラン・ドライブ 8583

(12)MB影響 アンダーンソ、ジョン・ドス アメンが会校国ミンガン巡4-1 1ト 108

レメンが向後回3つだり走るのものも、そうむソド、ダイケン・アスリョー 20日(23)電影池 シャーゲット、ジョンシー・オ人

(71)発明者 パウアー、フレデリック・チィー

アメラな心敷因のツガンだ40404、ゼールンド、 わひス・フークツョア・ドサムレ 346

F # - A (1845) 2KOTL-MALO MALA BAGT FACE FACE 2003 FF16 GG6 HHO

(72)発明者 ステイム, ジョーゼフ・エス